

DIAMエマージング債券ファンド 愛称:ライジングネクスト

追加型投信/海外/債券 月次運用レポート

2012年5月

商品の特色(くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご覧ください)

安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。

- 今後成長が期待されるエマージング諸国(新興国)の現地通貨建てソブリン債券等に、分散投資を行います。当ファンドは、主に「ピムコ ケイマン エマージング ローカル ボンド ストラテジー ファンド(JPY)」と、「国内債券パッシブ・ファンド・マザーファンド」に投資するファンド・オブ・ファンズです。
- エマージング諸国の債券の実質的な運用は、債券運用で定評のあるピムコ(PIMCO)社が行います。
- 毎月決算を行い、安定的な収益の分配を継続的に行うことをめざします。毎月12日(休業日の場合は翌営業日。)に決算を行い、原則として利子配当等収益を中心に分配を行うことをめざします。毎年2月、5月、8月、11月の決算時には、原則として利子配当等収益に売買益(評価益を含みます。)等を加えた額から分配を行います。
- ※ 将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。
- ※ 分配金額は、分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。
- 資金動向、市況動向等によっては、上記の運用ができない場合があります。

主なリスクと費用(くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご覧ください)

投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、下記の主な変動要因により、基準価額が下落し、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。当ファンドの運用による損益は全て投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金と異なります。

なお、基準価額の変動要因は、下記に限定されるものではありません。その他の留意点など、くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

- 金利リスク……一般的に金利が上昇すると債券の価格は下落します。当ファンドは、実質的に債券に投資をしますので、金利変動により基準価額が上下します。これにより投資元本を割り込むことがあります。エマージング債券に投資する場合、先進国債券に比べ金利リスクが大きくなる傾向があります。
- 信用リスク……実質的に投資する債券や短期金融商品等の発行者が経営不安・倒産に陥った場合、またこうした状況に陥ると予想される場合等には基準価額が下がる要因となります。これにより投資元本を割り込むことがあります。エマージング債券に投資する場合、先進国債券に比べ信用リスクが大きくなる傾向があります。
- カントリーリスク…当ファンドが実質的に投資を行う通貨や債券の発行者が属する国の経済状況は、先進国経済と比較して一般的に脆弱である可能性があります。そのため、当該国のインフレ、国際収支、外貨準備高等の悪化などが為替市場や債券市場に及ぼす影響は、先進国以上に大きいものになることが予想されます。さらに、政府当局による海外からの投資規制や課徴的な税制、海外への送金規制などの種々の規制の導入や政策の変更等の要因も為替市場や債券市場に著しい影響を及ぼす可能性があります。
- 為替リスク……当ファンドは、実質組入外貨建資産について原則として対円で為替ヘッジを行わないため為替変動の影響を受けます。このため為替相場が当該実質組入資産の通貨に対して円高になった場合には基準価額が下がる要因となります。これにより投資元本を割り込むことがあります。エマージング諸国通貨に投資する場合、先進国通貨に比べ為替リスクが大きくなる傾向があります。
- 流動性リスク……当ファンドは、実質的に市場規模が小さい債券等に投資する場合があります。そのような市場では、資産規模や取引量が少ないため売却時に市場実勢から期待される価格で売却できなかつたり、売買取引が困難となることから、価格の値動きが大きくなることもあり、基準価額に影響をおよぼす可能性があります。これにより投資元本を割り込むことがあります。

当ファンドへの投資に伴う主な費用は購入時手数料、信託報酬などです。

費用の詳細につきましては、当資料中の「お客様にご負担いただく費用について」および投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

**※ 当資料は10枚ものです。P.9の「当資料のお取扱いについてのご注意」を必ずご確認ください。
なお、別紙1も併せてご確認ください。**

設定・運用は

DIAMアセットマネジメント



商号等： DIAMアセットマネジメント株式会社

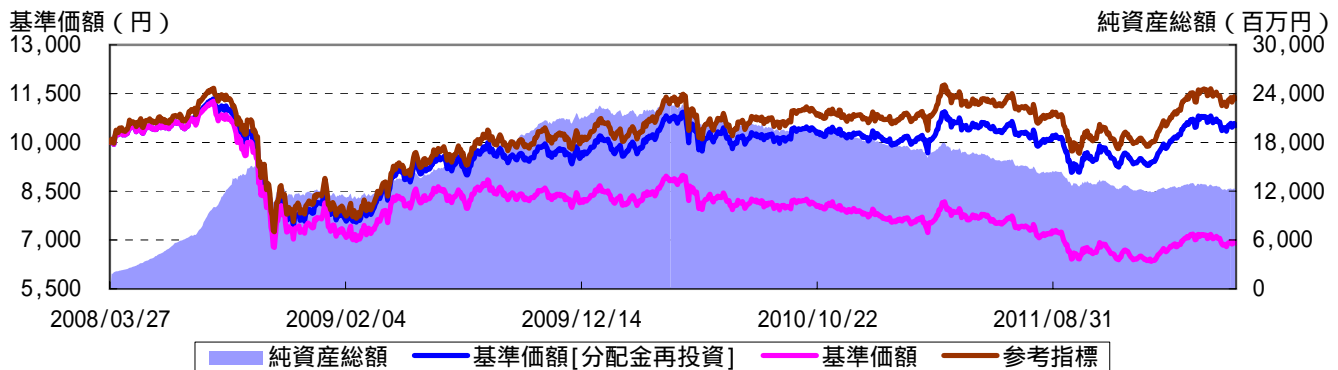
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第324号

加入協会： 社団法人投資信託協会

社団法人日本証券投資顧問業協会

DIAMエマージング債券ファンド 愛称：ライジングネクスト
 追加型投信 / 海外 / 債券
 月次運用レポート (2012年5月)

運用実績の推移



基準価額[分配金再投資]は、税引前の分配金を再投資したものと計算していますので、実際の基準価額とは異なります。
 基準価額[分配金再投資] = 前日基準価額[分配金再投資] × (当日基準価額 ÷ 前日基準価額)
 (決算日の当日基準価額は税引前分配金込み)
 基準価額は信託報酬控除後です。なお、信託報酬率は「お客様にご負担いただく費用について」をご覧ください。(設定日：2008年3月28日)
 参考指標は「JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバシファイド(円ベース、為替ヘッジなし)」とし、2008年3月27日の終値を10,000として指数化しています。
 上記は過去の実績であり、将来の運用成果等をお約束するものではありません。

基準価額・純資産総額

基準価額	6,901 円
解約価額	6,880 円
純資産総額	12,250 百万円
設定日	2008年3月28日
決算日	原則毎月12日

ポートフォリオ構成

ピムコ ケイマン エマージング ローカル ボンド ストラテジー ファンド J (JPY)	99.5%
国内債券パッシブ・ファンド・マザーファンド	0.1%
現金等	0.4%

比率は純資産総額に対する割合です。

騰落率 (税引前分配金再投資)

	1ヵ月 (2012/03/30)	3ヵ月 (2012/01/31)	6ヵ月 (2011/10/31)	1年 (2011/04/28)	2年 (2010/04/30)	3年 (2009/04/30)
当ファンド	-0.89%	7.13%	8.16%	-2.31%	-3.55%	18.02%
参考指標	-0.73%	7.93%	9.33%	-1.94%	-0.81%	23.61%
差	-0.16%	-0.80%	-1.18%	-0.38%	-2.74%	-5.59%

1 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものと算出しておりますので、実際の投資家利回りとは異なります。
 2 上記は過去の実績であり、将来の運用成果等をお約束するものではありません。

分配金情報 (税引前)

直近3年分

第13期 (2009.05.12)	70 円	第25期 (2010.05.12)	70 円	第37期 (2011.05.12)	70 円	
第14期 (2009.06.12)	70 円	第26期 (2010.06.14)	70 円	第38期 (2011.06.13)	70 円	
第15期 (2009.07.13)	70 円	第27期 (2010.07.12)	70 円	第39期 (2011.07.12)	70 円	
第16期 (2009.08.12)	70 円	第28期 (2010.08.12)	70 円	第40期 (2011.08.12)	70 円	
第17期 (2009.09.14)	70 円	第29期 (2010.09.13)	70 円	第41期 (2011.09.12)	70 円	
第18期 (2009.10.13)	70 円	第30期 (2010.10.12)	70 円	第42期 (2011.10.12)	70 円	
第19期 (2009.11.12)	70 円	第31期 (2010.11.12)	70 円	第43期 (2011.11.14)	70 円	
第20期 (2009.12.14)	70 円	第32期 (2010.12.13)	70 円	第44期 (2011.12.12)	70 円	
第21期 (2010.01.12)	70 円	第33期 (2011.01.12)	70 円	第45期 (2012.01.12)	70 円	
第22期 (2010.02.12)	70 円	第34期 (2011.02.14)	70 円	第46期 (2012.02.13)	70 円	
第23期 (2010.03.12)	70 円	第35期 (2011.03.14)	70 円	第47期 (2012.03.12)	70 円	
第24期 (2010.04.12)	70 円	第36期 (2011.04.12)	70 円	第48期 (2012.04.12)	70 円	
					累計分配金	3,350 円

1 分配金は1万口当たり
 2 上記の分配金は過去の実績であり、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。
 3 分配金額は、分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。
 分配金が支払われない場合もあります。

※ 当資料は10枚ものです。
 ※ P.9の「当資料のお取扱いについてのご注意」をご確認ください。

設定・運用は
DIAMアセットマネジメント



DIAMエマージング債券ファンド 愛称：ライジングネクスト

追加型投信 / 海外 / 債券
 月次運用レポート (2012年5月)

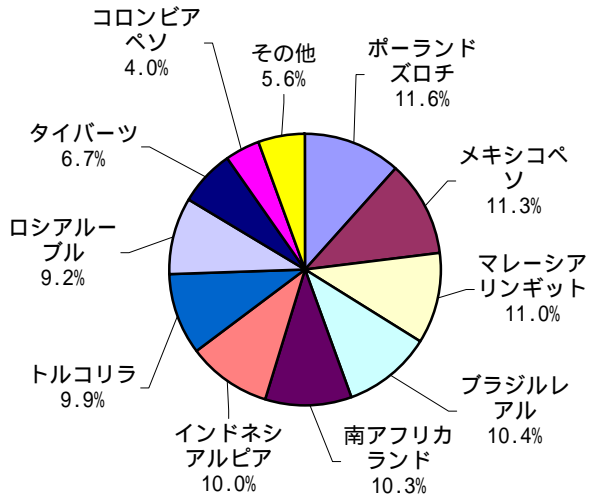
ビムコ ケイマン エマージング ローカル ボンド ストラテジー ファンド J (JPY) の内容

ビムコ社のデータを基に作成しています。

ベンチマークはJPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド(円ベース、為替ヘッジなし)です。

格付はMoody's社(またはS&P社、もしくはフィッチ社)の格付を使用しています。

通貨別配分



1 比率は債券、為替取引等の純資産総額に対する割合です。
 2 その他にはベンチマーク非採用通貨を含みます。

ポートフォリオの状況

	当ファンド	ベンチマーク
組入国数	14	14
最終利回り(%)	6.32	6.29
平均格付け	A-	BBB+
修正デュレーション	4.38	4.60

1 純資産総額を基に計算しています。
 2 当ファンドの平均格付については、組入れた債券の格付を加重平均したものであり、当ファンドの信用格付ではありません。

債券格付別配分

A A A	0.0%
A A	0.0%
A	70.7%
B B B	25.4%
B B	3.8%
B	0.0%
C C C 以下および無格付け	0.0%

比率は組入債券評価額に対する割合です。
 (CP等現金同等資産を除く。)

組入債券上位10銘柄

組入債券銘柄数：53銘柄

No	銘柄	クーポン	償還日	通貨	格付	組入比率(%)
1	メキシコ国債	7.75%	2017/12/14	メキシコペソ	A-	15.09
2	南アフリカ国債	8.25%	2017/09/15	南アフリカランド	A-	10.00
3	ポーランド国債	5.25%	2017/10/25	ポーランドズロチ	A	5.12
4	南アフリカ国債	8.00%	2018/12/21	南アフリカランド	A	4.54
5	南アフリカ国債	7.25%	2020/01/15	南アフリカランド	A	4.53
6	メキシコ国債	9.50%	2014/12/18	メキシコペソ	A-	4.45
7	タイ国債	5.13%	2018/03/13	タイバーツ	A-	4.29
8	ブラジル国債	10.00%	2017/01/01	ブラジルレアル	BBB	4.13
9	ポーランド国債	6.25%	2015/10/24	ポーランドズロチ	A	3.28
10	インドネシア国債	10.00%	2028/02/15	インドネシアアルピア	BBB-	2.86

比率は組入債券評価額に対する割合です。(CP等現金同等資産を除く。)

JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイドに関する著作権等の知的財産その他一切の権利はJ.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。

※ 当資料は10枚ものです。
 ※ P.9の「当資料のお取扱いについてのご注意」をご確認ください。

設定・運用は
DIAMアセットマネジメント

DIAMエマージング債券ファンド 愛称：ライジングネクスト
 追加型投信 / 海外 / 債券
 月次運用レポート (2012年5月)

ピムコ ケイマン エマージング ローカル ボンド ストラテジー ファンド J (JPY) の内容

ピムコ社のデータを基に作成しています。

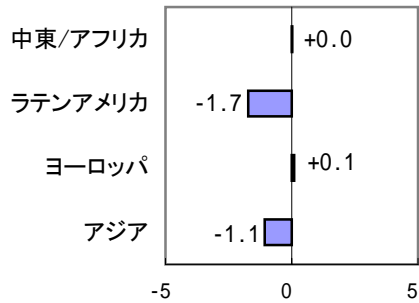
ベンチマークはJPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド(円ベース、為替ヘッジなし)です。

騰落率 (前月末比)

ファンド	ベンチマーク	差
-0.76%	-0.73%	-0.03%

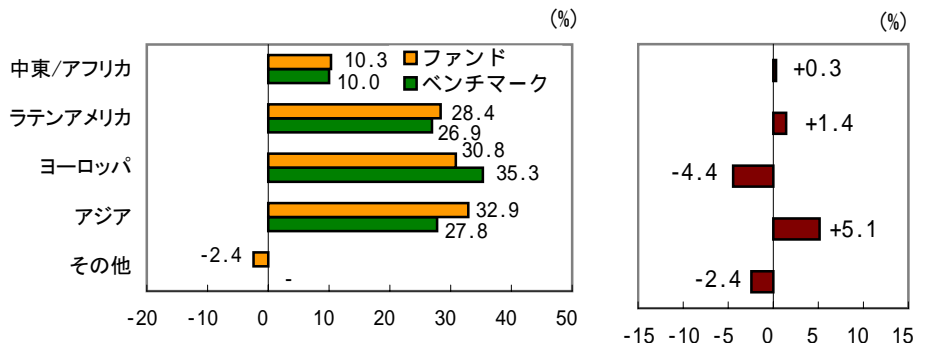
地域別市場パフォーマンス

(円ベース、%)



ベンチマークのパフォーマンスです。

地域別通貨配分(オーバーウェイト/アンダーウェイト)

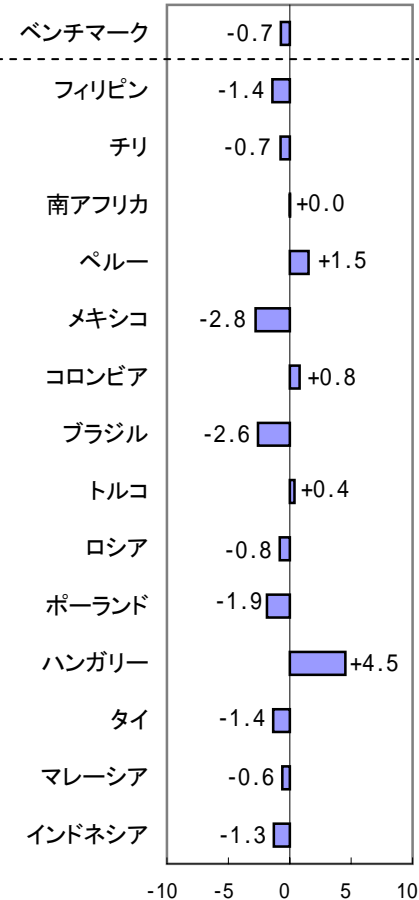


1 ファンドの比率は純資産総額に対する割合です。

2 その他にはベンチマーク非採用通貨を含みます。

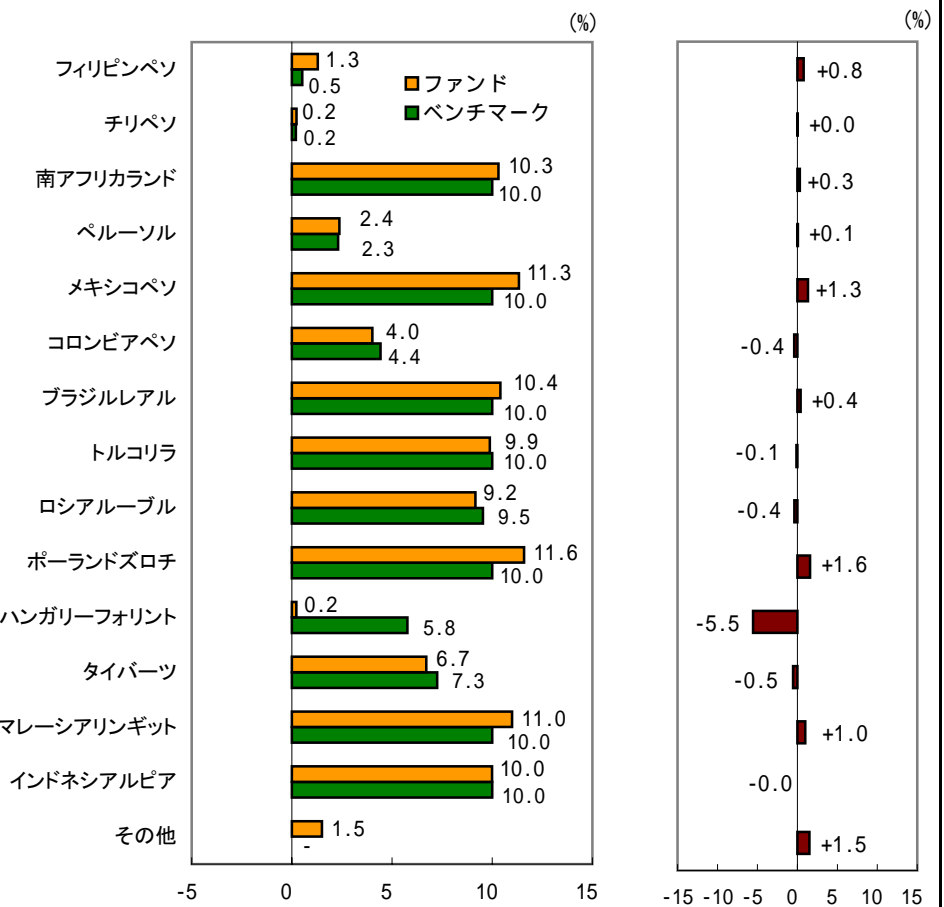
国別市場パフォーマンス

(円ベース、%)



ベンチマークのパフォーマンスです。

通貨別配分(オーバーウェイト/アンダーウェイト)



1 ファンドの比率は純資産総額に対する割合です。

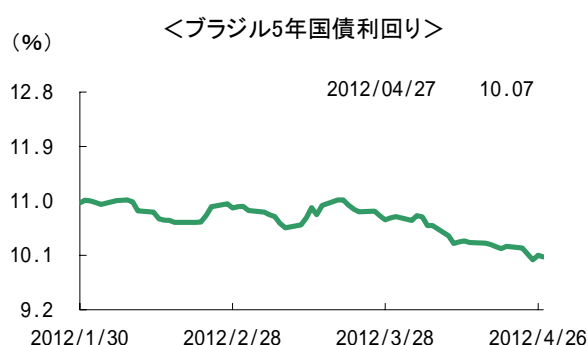
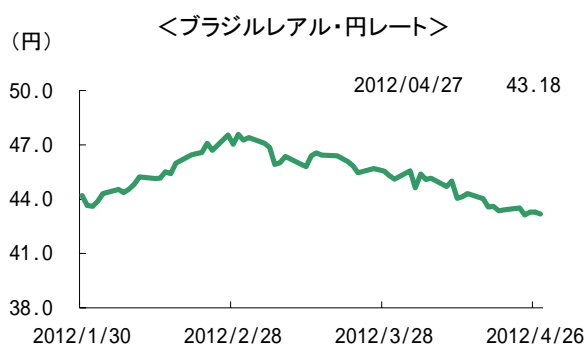
2 その他にはベンチマーク非採用通貨を含みます。

※ 当資料は10枚ものです。
 ※ P.9の「当資料のお取扱いについてのご注意」をご確認ください。

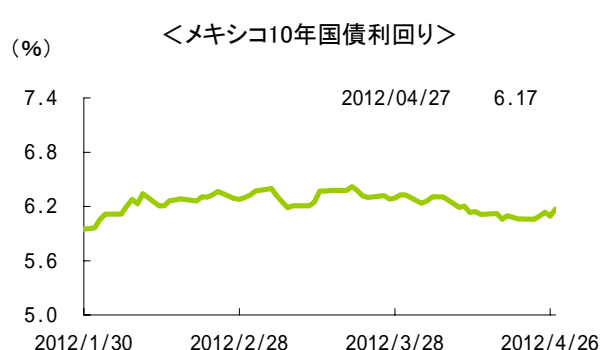
DIAMエマージング債券ファンド 愛称：ライジングネクスト
 追加型投信 / 海外 / 債券
 月次運用レポート（2012年5月）

各国の為替・金利動向（直近3ヵ月）

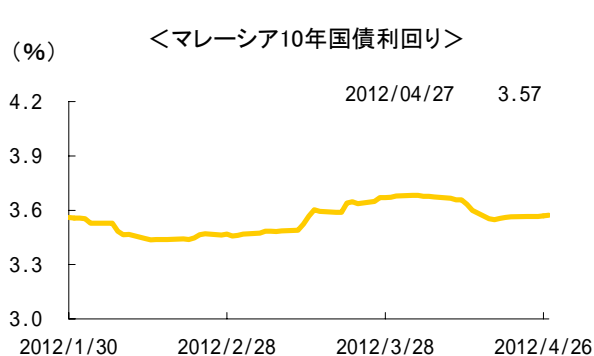
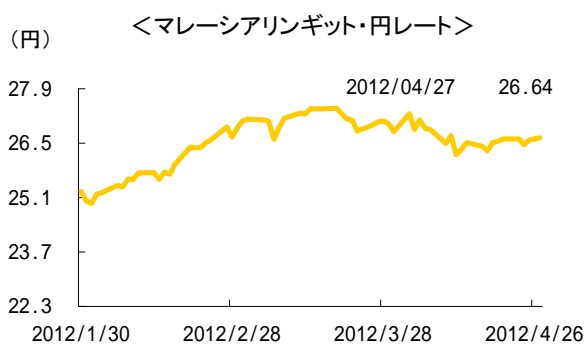
ブラジル



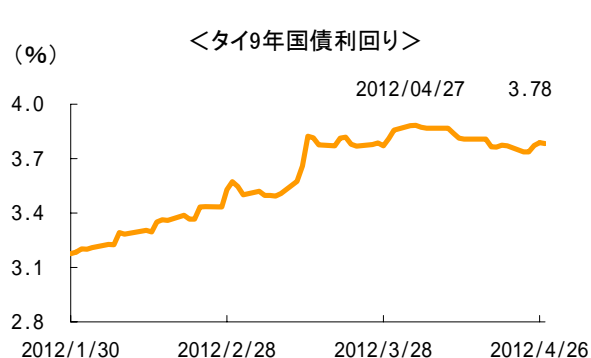
メキシコ



マレーシア



タイ



1 国債利回りはBloombergのデータを基に作成しています。
 2 為替レートはTTM（東京外国為替市場の対顧客電信仲値）を使用しています。

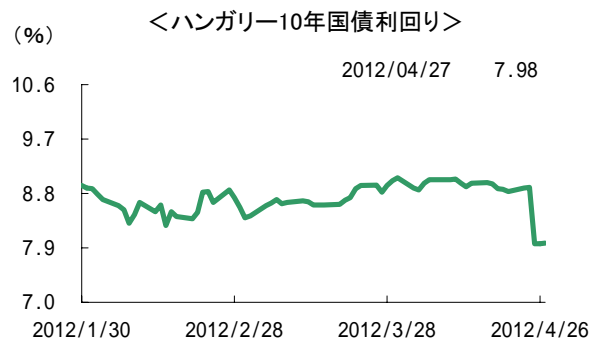
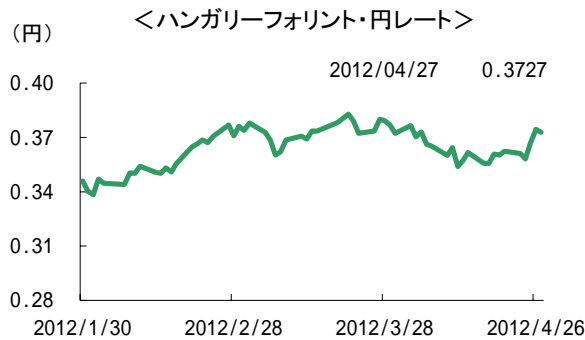
※ 当資料は10枚ものです。
 ※ P.9の「当資料のお取扱いについてのご注意」をご確認ください。

DIAMエマージング債券ファンド 愛称：ライジングネクスト

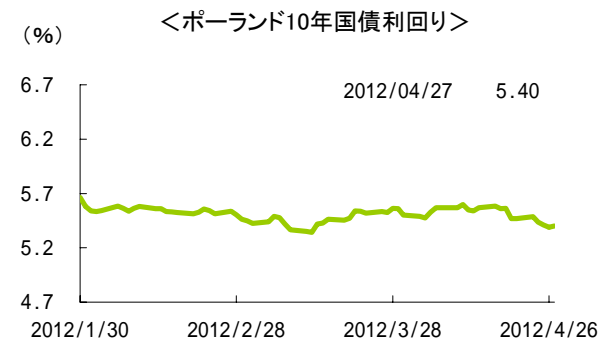
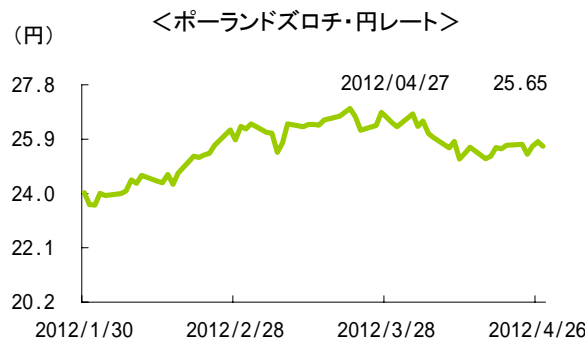
追加型投信 / 海外 / 債券
月次運用レポート（2012年5月）

各国の為替・金利動向（直近3ヵ月）

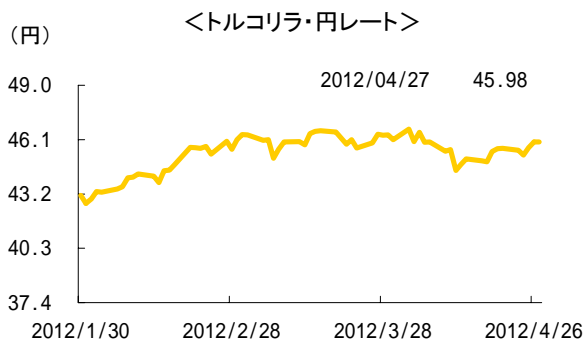
ハンガリー



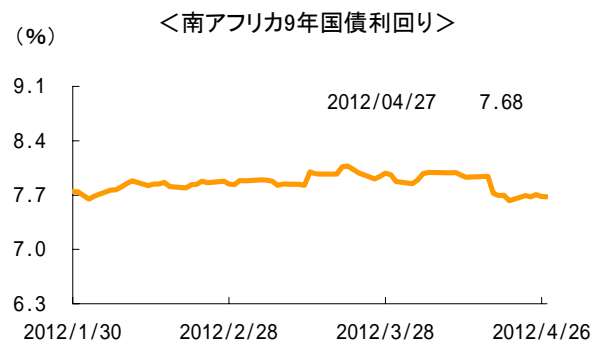
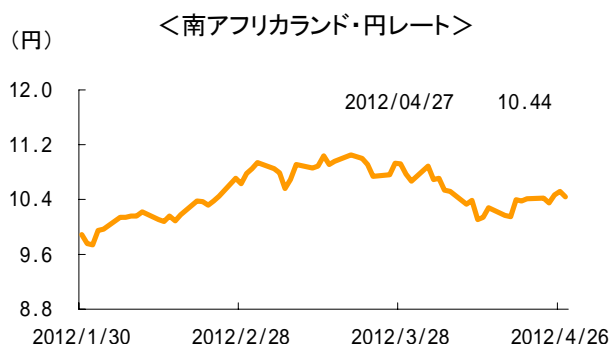
ポーランド



トルコ



南アフリカ



1 国債利回りはBloombergのデータを基に作成しています。
2 為替レートはTTM（東京外国為替市場の対顧客電信仲値）を使用しています。

※ 当資料は10枚ものです。
※ P.9の「当資料のお取扱いについてのご注意」をご確認ください。

D I A Mエマージング債券ファンド 愛称：ライジングネクスト

追加型投信 / 海外 / 債券
月次運用レポート (2012年5月)

D I A Mエマージング債券ファンドの運用状況

当ファンドでは引き続き、ピムコ ケイマン エマージング ローカル ボンド ストラテジー ファンドJ (JPY) の組入比率を高位に維持し、また国内債券パッシブ・ファンド・マザーファンドを少額組入れております。

当ファンドの資産の大半を占めるピムコ ケイマン エマージング ローカル ボンド ストラテジー ファンドJ (JPY) は、投資対象であるエマージング通貨に対して円高が進行したため下落し、当ファンドの基準価額も前月末比で▲0.89%となりました。

世界の主要金融市場では、欧州債務問題や米国経済指標の改善の鈍化から市場のリスク回避の流れが続き、主要国の国債利回りは総じて低下(価格は上昇)しました。

欧州ではスペイン国債の軟調な入札結果から同国の財政・景気見通しに不透明感が高まったことに加え、財務再建をめぐる対立によりオランダ内閣が総辞職したことなどから欧州の財政懸念が強まりました。また、緩やかな景気回復が続いていた米国で雇用等の一部の経済指標が失速したことから利回りが低下し、中国でも軟調な第1四半期の実質GDP(国内総生産)成長率から景気減速への警戒感が広がりました。5月初旬に控えているギリシャの総選挙やフランスの大統領選等のイベントなどから先行きは不透明であり、市場のリスク回避の流れが続きました。

為替市場では、欧州懸念などによる市場のリスク回避から主要通貨に対して円高が進み、ドル/円相場が前月末の1ドル=82円台から81円台へ、ユーロ/円相場が同1ユーロ=109円台から107円台へ下落しました。

市場動向および今後の運用方針

ピムコ ケイマン エマージング ローカル ボンド ストラテジー ファンドJ (J P Y)

【4月の市場動向】

4月のエマージング債券市場(円ベース)は、雇用統計を始めとする米国経済指標の軟化やスペインの財政再建の遅れなどから欧州債務問題への懸念が再燃したことを受け、軟調な展開となりました。また、ユーロ圏の景況感指数が市場予想を下回ったことや一部の格付機関がスペインの長期信用格付けを引き下げたことがマイナス材料となりました。一方で、米国企業の決算が好調であったことなどがプラス材料となりました。国別では、ハンガリー、トルコ、コロンビア、ペルーといった国々は市場平均を上回るパフォーマンスとなった一方で、ブラジル、メキシコといった国々は相対的に冴えない展開となりました。

【投資戦略】

メキシコは米国経済の影響を受ける傾向がある点には注意が必要ですが、足元の外部環境の悪化を受けて緊縮的な財政政策を採っていることや物価動向が比較的安定していることを背景として同国の現地通貨建て債券に対して引き続き積極姿勢としました。また、通貨についても相対的に割安な水準にあると考えられることから積極姿勢としました。ハンガリーは成長見通し不透明な中で財政再建の実現が困難であると考えられることや資金調達的外部依存度が高いことから同国の現地通貨建て債券に対して消極姿勢としました。また、通貨についても欧州周辺国の財政問題の影響や海外からの資金フローに影響を受ける傾向が強いことから消極姿勢としました。マレーシアは公的債務比率(対GDP比)が相対的に高く、財政赤字にも目立った改善が見られず、利回り水準が低いことから同国の現地通貨建て債券に対して消極姿勢としました。一方で、通貨については、海外からの資金フローが堅調であることから積極姿勢としました。

【パフォーマンスとその要因】

4月中、エマージング債券市場(円ベース)のリターンがマイナスとなったことから、基準価額は軟調に推移しました。ベンチマークとの比較では、マレーシアへの積極姿勢がプラスに寄与したものの、ブラジル、メキシコ、ポーランドへの積極姿勢やハンガリーへの消極姿勢がマイナスに寄与し、ベンチマークを下回るパフォーマンスとなりました。

【5月の運用方針】

引き続き、先進国とエマージング諸国間で経済成長のスピードに差が出るものと見ています。先進国では、金融機関の債務解消や欧州周辺国を中心とした財政問題などを背景に経済成長は低位にとどまると考えられます。一方で、エマージング諸国では中間層の増加などを通じた国内の消費市場の拡大や健全な財政状況などを背景に、相対的に高い経済成長が期待されます。足元では、先進国の一部で経済環境の改善が見られ、欧州周辺国の債務問題についても一定の進展が見られますが、周辺国が抱える構造的な問題の解決には時間を要するため、外部環境の悪化がエマージング諸国に及ぼす影響については注意が必要と考えられます。ただし、エマージング諸国の財政状況が健全であることや、政策金利の水準が相対的に高いことを考慮すると、財政および金融政策の余地が残されており、今後の経済的なショックに対する耐性は先進国と比較して相対的に強いと考えられます。

このような環境下、通貨の面で依然として割安度が強いと考えられるメキシコや、内需の拡大などを背景に相対的に高い経済成長が期待されるアジア通貨に対して積極姿勢とする一方、債務比率が高く外需に対する依存度の高いハンガリーなどに対して消極姿勢とします。

上記のマーケット動向と当ファンドの動きは、過去の実績であり将来の運用成果等をお約束するものではありません。また、見通しと運用方針は、作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等により当該運用方針が変更される場合があります。

※ 当資料は10枚ものです。

※ P.9の「当資料のお取り扱いについてのご注意」をご確認ください。

設定・運用は

DIAMアセットマネジメント



DIAMエマージング債券ファンド 愛称：ライジングネクスト

追加型投信 / 海外 / 債券
月次運用レポート (2012年5月)

お申込みメモ(くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご覧ください)

購入単位	各販売会社が定める単位(当初元本:1口=1円)
購入価額	お申込日の翌営業日の基準価額とします。
購入代金	お申込みをされた販売会社が定める所定の日までに購入代金を販売会社に支払うものとします。
換金単位	各販売会社が定める単位
換金価額	換金のお申込日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を控除した価額とします。
換金代金	原則として換金のお申込日より起算して6営業日目から支払います。
申込締切時間	原則として販売会社の毎営業日の午後3時までとします。
購入・換金不可日	ニューヨーク証券取引所、またはニューヨークの銀行の休業日には、購入・換金のお申込みの受付を行いません。
換金制限	信託財産の資金管理を円滑に行うため、大口の換金請求に制限を設ける場合があります。
購入・換金申込受付の中止および取消し	市場の著しい混乱等でエマージング債券市場の流動性が極端に低下した場合、金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止することおよびすでに受付けた購入・換金のお申込みの受付を取り消す場合があります。
信託期間	無期限です。(設定日:2008年3月28日)
繰上償還	次のいずれかに該当する場合等には、受託会社と合意の上、信託契約を解約し、当該信託を終了する場合があります。 ①受益権の口数が10億口を下回るようになった場合。 ②受益者のために有利であると認めるとき。 ③やむを得ない事情が発生したとき。
決算日	原則として毎月12日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	年12回、毎決算日に、収益分配方針に基づき、収益分配を行います。 ※「分配金受取コース」の場合、決算日から起算して原則として5営業日までにお支払いを開始します。 ※「分配金自動けいぞく投資コース」の場合、税引後、無手数料で自動的に全額が再投資されます。
課税関係	課税上は株式投資信託として取り扱われます。 原則として、分配時の普通分配金ならびに換金時の値上がり益および償還時の償還差益に対して課税されます。 ※税法が改正された場合等には、上記内容が変更となることがあります。

お客様にご負担いただく費用について(くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご覧ください)

以下の手数料等の合計額等については、保有期間などに応じて異なりますので、表示することができません。

詳細については投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

●購入時

購入時手数料	購入価額に 3.15%(税抜3.0%) を上限として各販売会社が定める手数料率を乗じて得た額とします。 ※くわしくは販売会社にお問い合わせください。
--------	--

●換金時

換金手数料	ありません。
信託財産留保額	換金申込日の翌営業日の基準価額に 0.3% を乗じて得た額とします。

●保有期間中(信託財産から間接的にご負担いただきます。)

運用管理費用 (信託報酬)	実質的な信託報酬: 信託財産の純資産総額に対して年率1.785%(税抜1.70%) を日々ご負担いただきます。 ・当ファンド: 信託財産の純資産総額に対して年率1.785%(税抜1.70%) ・投資対象とする投資信託証券: ありません。
その他費用・手数料	組入る有価証券の売買の際に発生する売買委託手数料、信託事務の諸費用、監査費用、外国での資産の保管等に要する諸費用等が信託財産から支払われます。(その他費用・手数料については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率・上限額等を表示することができません。)

※ 当資料は10枚ものです。

※ P.9の「当資料のお取り扱いについてのご注意」をご確認ください。

設定・運用は
DIAMアセットマネジメント

DIAMエマージング債券ファンド 愛称：ライジングネクスト

追加型投信 / 海外 / 債券 月次運用レポート (2012年5月)

投資信託ご購入の注意

投資信託は、

- ① 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。
- ② 購入金額については元本保証および利回り保証のいずれもありません。
- ③ 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

当資料のお取り扱いについてのご注意

- 当資料は、DIAMアセットマネジメント株式会社が作成した販売用資料です。
- お申込みに際しては、販売会社からお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 当資料はDIAMアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その情報の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また、掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。
- 当資料に記載されている運用実績は税引前分配金を再投資したものとすると基準価額の変化を示したものであり、税金および手数料は計算に含まれておりません。
- 当資料における内容は作成時点(2012年5月16日)のものであり、今後予告なく変更される場合があります。
- 当ファンドは、実質的に債券等の値動きのある有価証券(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者にかかる信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。

◆ファンドの関係法人 ◆

<委託会社>DIAMアセットマネジメント株式会社
 <受託会社>みずほ信託銀行株式会社
 <販売会社>販売会社一覧をご覧ください
 <投資顧問会社>ピムコ ジャパン リミテッド

◆委託会社の照会先 ◆

DIAMアセットマネジメント株式会社
 コールセンター 0120-506-860
 (受付時間:営業日の午前9時～午後5時)
 ホームページ URL <http://www.diam.co.jp/>

販売会社(お申込み、投資信託説明書(交付目論見書)のご請求は、以下の販売会社へお申し出ください)

○印は協会への加入を意味します。

2012年5月16日現在

商号	登録番号等	日本証券 業協会	社団法人 日本証券 投資顧問 業協会	一般社団 法人金融 先物取引 業協会	一般社団 法人第二 種金融商 品取引業 協会	備考
株式会社みずほ銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第3号	○		○	○	
株式会社百十四銀行	登録金融機関 四国財務局長(登金)第5号	○		○		
株式会社福岡銀行	登録金融機関 福岡財務支局長(登金)第7号	○				
株式会社親和銀行	登録金融機関 福岡財務支局長(登金)第3号	○				
株式会社熊本ファミリー銀行	登録金融機関 九州財務局長(登金)第6号	○				
カブドットコム証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第61号	○		○		
株式会社SBI証券	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第44号	○		○		
岡三オンライン証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第52号	○		○		
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第195号	○		○		
フィデリティ証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第152号	○				
野村證券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第142号	○	○	○	○	※1

●その他にもお取扱いを行っている販売会社がある場合があります。

また、上記の販売会社は今後変更となる場合があるため、販売会社または委託会社の照会先までお問い合わせください。

<備考欄について>

※1 新規募集の取扱いおよび販売業務を行っておりません。

※2 備考欄に記載されている日付からのお取扱いとなりますのでご注意ください。

※3 備考欄に記載されている日付からお取扱いを行いませんのでご注意ください。

(原則、金融機関コード順)

※ 当資料は10枚ものです。

設定・運用は

DIAMアセットマネジメント



DIAMエマージング債券ファンド 愛称：ライジングネクスト
追加型投信 / 海外 / 債券
 月次運用レポート（2012年5月）

販売会社（お申込み、投資信託説明書（交付目論見書）のご請求は、以下の販売会社へお申し出ください）

○印は協会への加入を意味します。

2012年5月16日現在

商号	登録番号等	日本証券 業協会	社団法人 日本証券 投資顧問 業協会	一般社団 法人金融 先物取引 業協会	一般社団法 人第二種金 融商品取引 業協会	備考
■以下は取次販売会社です。						
桐生信用金庫	登録金融機関 関東財務局長(登金)第234号					
しのめ信用金庫	登録金融機関 関東財務局長(登金)第232号					
さがみ信用金庫	登録金融機関 関東財務局長(登金)第191号					
東京東信用金庫	登録金融機関 関東財務局長(登金)第179号	○				
西武信用金庫	登録金融機関 関東財務局長(登金)第162号	○				
柏崎信用金庫	登録金融機関 関東財務局長(登金)第242号					
岐阜信用金庫	登録金融機関 東海財務局長(登金)第35号	○				
東濃信用金庫	登録金融機関 東海財務局長(登金)第53号	○				
瀬戸信用金庫	登録金融機関 東海財務局長(登金)第46号	○				
京都中央信用金庫	登録金融機関 近畿財務局長(登金)第53号	○				
奈良信用金庫	登録金融機関 近畿財務局長(登金)第71号	○				
米子信用金庫	登録金融機関 中国財務局長(登金)第50号					
広島信用金庫	登録金融機関 中国財務局長(登金)第44号	○				
高松信用金庫	登録金融機関 四国財務局長(登金)第20号					

●その他にもお取扱いを行っている販売会社がある場合があります。

また、上記の販売会社は今後変更となる場合があるため、販売会社または委託会社の照会先までお問い合わせください。

<備考欄について>

※1 新規募集の取扱いおよび販売業務を行っておりません。

※2 備考欄に記載されている日付からのお取扱いとなりますのでご注意ください。

※3 備考欄に記載されている日付からお取扱いを行いませんのでご注意ください。

(原則、金融機関コード順)

※ 当資料は10枚ものです。

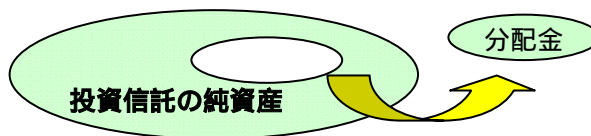
※ P.9の「当資料のお取扱いについてのご注意」をご確認ください。

設定・運用は
DIAMアセットマネジメント



投資信託の分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。なお、分配金の有無や金額は確定したものではありません。

投資信託から分配金が支払われるイメージ



分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

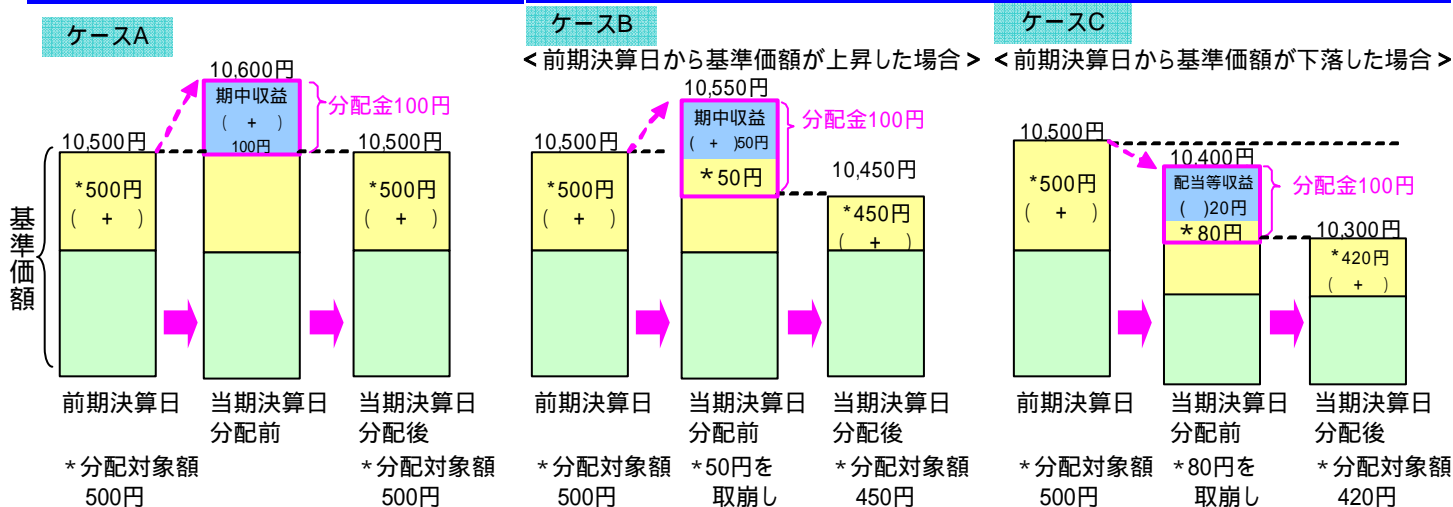
分配金額と基準価額の関係(イメージ)

分配金は、分配方針に基づき、以下の分配対象額から支払われます。

配当等収益(経費控除後)、 有価証券売買益・評価益(経費控除後)、 分配準備積立金、 収益調整金

計算期間中に発生した収益の中から支払われる場合

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合



上図のそれぞれのケースにおいて、前期決算日から当期決算日まで保有した場合の損益を見ると、次の通りとなります。

ケースA: 分配金受取額100円 + 当期決算日と前期決算日との基準価額の差0円 = 100円
 ケースB: 分配金受取額100円 + 当期決算日と前期決算日との基準価額の差 50円 = 50円
 ケースC: 分配金受取額100円 + 当期決算日と前期決算日との基準価額の差 200円 = 100円

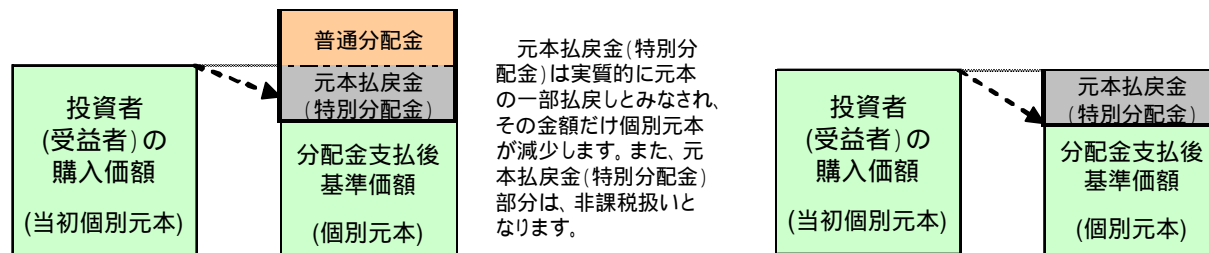
A、B、Cのケースにおいては、分配金受取額はすべて同額ですが、基準価額の増減により、投資信託の損益状況はそれぞれ異なった結果となっています。このように、投資信託の収益については、分配金だけに注目するのではなく、「分配金の受取額」と「投資信託の基準価額の増減額」の合計額でご判断ください。

上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではないのでご注意ください。

投資者(受益者)のファンドの購入価額によっては、分配金の一部ないし全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合

分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



普通分配金: 個別元本(投資者(受益者)のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。
元本払戻金(特別分配金): 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者(受益者)の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。
 (注) 普通分配金に対する課税については、投資信託説明書(交付目録見書)をご確認ください。